

地方経済情報 Weekly No.469

フランス市場への浸透を目指して球磨焼酎をアピール フランスを代表するソムリエらによるイベントを開催

1. 球磨焼酎のフランス販路拡大事業

当研究所は球磨焼酎の海外でのブランド力向上と販路開拓を目的としたプロジェクトに取り組んでいます。その一環としてフランスにて、10 蔵元（緋月酒造、高田酒造場、高橋酒造、鳥飼酒造、林酒造場、深野酒造、福田酒造、松下醸造場、大和一酒造元、六調子酒造）の商品を、現地飲食店の代表者やソムリエらに向けて直接 PR しました。運営は日本の伝統産業のブランディングを多く手がける(株)TCI 研究所（京都市）にサポートいただきました。

2. 飲食業界へのプロモーション

出品した商品の多くは既にフランスで販売されていますが、市場への訴求はまだです。そのため今回のイベントの対象は、飲食店で商品選定に関わったり直接お客様に接したりするソムリエとしました。知名度の低い球磨焼酎をお客様自身が選んで飲むのはハードルが高いため、ソムリエからお客様へ勧めてもらえるようになるのが狙いです。講師にはフランスを代表するソムリエ David Biraud（ダヴィド・ビロー）氏らを迎えました。2002 年にフランス最優秀ソムリエ、2004 年には MOF（フランス国家最優秀職人章）を受賞したビロー氏から直接指導が受けられるとあって、ソムリエたちの熱も高まりました。

3. 地域経済への波及を目指して

2024 年度本プロジェクトでは、香港、台湾、フランス、スイスをターゲットとして、現地でのイベントと人吉球磨でのバイヤー視察を行いました。今後も球磨焼酎の海外販路開拓等を支援し、人吉球磨地域の活性化を目指して取り組んでまいります。事業の内容は今後も Weekly で発信していきます。ご興味のある方は当研究所までお問合せください。

当研究所の球磨焼酎支援の取組みはこちら <https://www.reri.or.jp/shochu/>



(写真) 4 蔵元がフランスへ渡航しイベントに参加しました (2024 年 11 月 25 日、Imperial Treasure)

写真奥中央：球磨焼酎酒造組合深野理事長（深野酒造社長）

写真左：林酒造場 林杜氏（当時）



(当研究所撮影)

担当：研究員 古田 千智